Alopecia STAND UP! 2023

ジブン色みつけよう「COLOR FUN!」

～人と違うからこそ、あなたの色がある～

イベント開催報告

目次

P003- 開催概要
P004- ヘアロス啓発イベントへの想い
P005- 2022年～2023年ヘアロス認知拡大へのあゆみ
P006- 2023年度 ヘアロス啓発イベント目的
P007- 参加者から寄せられた声
P008- ヘアロスパレード
P009- トークショー
P010- キッズモデル・モデルランウェイ
P011- 出展企業から寄せられた声
P012- キッズワークショップ
P013- SNS寄付フォトキャンペーン（NMT Japan様ご協力）
P014- 協賛企業・後援・出展・助成金・寄付 一覧
P016- ヘアロス啓発イベント2023 収支報告・メディア
P017- 総括と2024年度へ向けて
P018- 2023年度 日本ヘアロス啓発実行委員会 組織図

開催概要



当日のダイジェストムービー
https://youtu.be/5vyxbn5QzoY

NPO法人Alopecia Style Project Japan（ASPJ） ヘアロス啓発イベント2023

イベント名　ALOPECIA STAND UP! 2023
開催日時　2023年9月23日（土・祝）12:00～17:00
開催場所　渋谷ストリーム前 稲荷橋広場

イベント内容　一部　：パレード（ヘアロス啓蒙）渋谷駅周辺
二部　：トークショー、キッズヘアファッションショー
その他：キッズワークショップ、販売店舗

ASPJ NPO法人Alopecia Style Project Japan（ASPJ）とは

脱毛症状のある（アルペシア）抜毛症、乏毛症、治療の副作用による脱毛など、様々な理由により髪に症状を持つヘアロスの患者さんとその家族、そして関心を持つ人々を支援するための団体です。人々が心身共に健やかな生活を送れるよう、様々な活動を展開。

活動内容

- ヘアロス啓発活動やヘアロス当事者とご家族のためのコミュニティー運営交流会の実施
- 医療機関との連携や学校企業への講演
- 髪に症状を持つお子様へのウィッグプレゼント、家族ケアなどのピアカウンセリング、当事者のQOLの向上の提案も行っています。

私達は、髪の事をはじめ他者との違いについて正しく理解し、学び合い、育み合える、成熟した安心して生活できる社会を実現することを目指しています。

活動報告書2022年度
https://drive.google.com/file/d/1SXsc60alq5u48cGrHb9FNS2HGvGaijva/view?usp=sharing

ヘアロス啓発イベント「Alopecia STAND UP! 2023」プレスリリース記事
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000012.000083154.html

ヘアロス啓発イベントへの想い

ヘアロスの周知

毛髪疾患の子ども・当事者の生きづらさは、「毛髪疾患への理解・支援不足」という社会側の課題と、当事者自身が毛髪疾患を抱えることでの「選択肢の減少」だと考え、ASPJでは設立当初から、毛髪疾患当事者の安心安全な場所での、繋がりをメインとした交流会を定期的に開催してきました。髪がないそのままの姿でも生きやすい社会に、自分たち自身が「選ぶこと」ができる社会にしていくには当事者自身が思う「ハンデ」を和らげていくことと同時に、社会にある「ハンデ」を取り除いていくための取り組みを行う必要があると考えています。

孤独からの脱却

脱毛症は500人にひとり、抜毛症は100人にひとり発症していると言われており、乏毛症は少なくとも国内に1万人の患者がいます。髪が無くなるという症状は命に直結したものではありませんが、心理的にとても大きなインパクトを与えます。ウィッグなどで隠すことが出来るので、当事者の多くが人知れず悩んでいるのが現状です。また、症状以外にも、その思いを周りへ相談できず、一人で抱え込み、自信を取り戻せないでいる方も多くいる現状です。幼少期に発症することも多いため、当事者のご家族の方や保護者へのケア情報をシェアできる場も必要だと考えています。また、現在日本では、当事者の精神的な面をサポートする団体は少なく、全国に届いていないことが課題です。

小中学校へのアプローチ

毛髪疾患の子どもがいる保護者と現職の教諭、計317名を対象とした独自の調査によると、毛髪疾患のある子どもの約95%が学校や園にヘアロスの症状を伝えているが、約60%が「理解が十分でない」と感じています。また現職の教諭の約45%が学校や園で毛髪疾患のある子どもと関わった経験があるが、自信をもってサポートできる割合は約2%に留まっています。イベントの参加だけでなく、チラシを目にするだけでもヘアロスを知るきっかけになるのではと考えています。

※全国の小中学校にハンドブックを配布予定

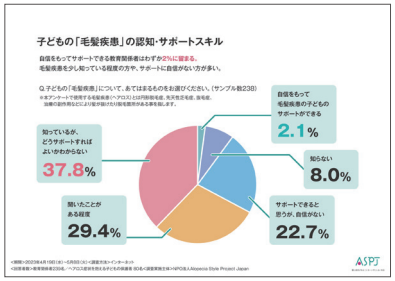
2022年～2023年ヘアロス認知拡大へのあゆみ

2022年からスタートしたヘアロス啓発イベントですが、社会的な動きや認知についてのASPJが行った歩みを紹介。

1 教育関係者実態調査公表

2 ヘアロス保護者が抱える悩み調査結果公表

https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000010.000083154.html




病気や治療による「ヘアロス」、学校現場での対応考える　大分市で講演会

2023/07/18(火) 19:46

ヘアロスについて講演する当事者の3人＝大分市府内町のコンパルホール

【大分】病気や治療の影響で毛髪がなくなる「ヘアロス」について、学校現場での児童・生徒への対応を考える講演会が１３日、大分市府内町のコンパルホールであった。市学校保健会の主催で、学校医や教職員ら約１４０人が参加した。

同会の総会に合わせて開催。「周知は十分で

3 毛髪疾患サポートハンドブック制作

アニメで脱毛症を考える「みっちゃんのなみだ」
https://youtu.be/HHxcO93fRlQ?feature=shared



4 毛髪疾患サポートハンドブックの活用



WEBで冊子希望のフォームを設け、希望者に送付。
個人を含めた30名以上の方に約1600部を送付。
9月23日のイベント会場でもハンドブックを設置し、希望者に配布いたしました。ヘアドネーションは知っているけれど症状の事は知らなかったという方が手に取ってくださいました。ASPJでは今後、子どもたち自身がヘアロスについて知る機会を増やすために絵本やアニメーションの制作を行う予定です（ラッシュジャパン助成金採択事業）
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000007.000083154.html

5 教育関係者の方への講演

「ヘアロス症状について知る」「当事者の声や想い紹介」「学校でどのような対応ができるか?ワークショップで実際に考えてみる」サポートハンドブックを通じて、ヘアロスの子どもたちが自分を大切にする気持ちを育てること、社会のヘアロスに対する理解の促進を目指すこれらのテーマをベースとし、子どもたちへのサポートを継続するために講演を行いました。
大分市学校保健会総会など、大分市、京都府向日市、三重県鈴鹿市、東京都渋谷区にて実施総勢約396名の方に参加いただきました。

2023年度 ヘアロス啓発イベント目的

社会への啓もう

- ヘアロスに対する偏見や差別をなくす
- 毛髪疾患サポートハンドブック配付などによる症状への正しい理解
- ヘアロス当事者と繋がる

ヘアロス当事者

- 仲間との出会い、共感、共有の場
- 症状の向き合い方の選択肢の提案
- 理解者、応援者と繋がる

小中学校への啓もう

毛髪疾患サポートハンドブック制作にあたり、行った実態調査により教育関係者の方もヘアロスについての認知度が低いことや、当事者のケアについて悩んでいる事が浮き彫りになりました。ヘアロス啓発イベントの告知フライヤーを渋谷区を中心とした小中学校に配布する事で、ヘアロスの認知向上を目指しました。

【イベントフライヤー配付先】

東京都渋谷区立小学校17校
東京都渋谷区立中学校7校
東京都渋谷区立小中一貫校1校
千葉県富津市立大貫小学校1校
千葉県富津市立大佐和中学校1校

ヘアロス啓発イベント2023 各種数値

来場者数：約800名（通行人含む）

属　性：ご家族連れ、ヘアロス当事者、理解者、通行人など
年　代：未就学児～70代
男女比：6対4

メディア　：イベント掲載1社 取材2社

Alopecia STAND UP! SNS人数

Instagram　：1033人
YouTube　：2023年分総視聴数397
facebook　：60人
X（旧Twitter）：135人

参加者から寄せられた声

- ヘアロスイベントなので参加者はウィッグを付けた人がたくさんいたのに、自然すぎて全然分からなかった!
  ウィッグが進化していて、おしゃれを楽しめるのが素敵だと思った。
- ウィッグを試着した人が鏡を見て嬉しそうにしていて、とても幸せな光景だった。
- パレードで、沿道の人が笑顔で手を振ってくれあたたかい気持ちになれた。
- 「自分の中の多様性。自分にもいろんな色があるよ。学校や職場での自分、家での娘として、母として、妻としての自分、そういういろんな自分を知って受け入れていくことで、相手のいろんなところも受け入れていける」と話していた。素晴らしい時間をありがとうございました。
- 娘が乏毛症です。学校にも楽しく通っていますが、周りに同じ症状の方がいないのと、多くの方に認知されていないのか街では視線を感じることが多々あります。でも会場で皆さんのキラキラした姿を見て、娘も自分だけじゃなかったと自信にもなったようです。
- 先天性乏毛症の小2の娘と参加し、たくさんの子どもさんに出会い、娘は自分だけじゃないということにとても勇気づけられていたようです。
- サポートハンドブックを子どもの学校等に配布したい。






ヘアロスパレード

日本で初めての「ヘアロス啓発のためのパレード（デモ行進）」では130名以上の方が集まり渋谷駅周辺を歩きました。沿道での応援や手を振ってくださった方もいらして、参加者からはあたたかい応援に涙が出たと感動の声が寄せられました。

ルート　10時　渋谷ストリーム前 稲荷橋広場集合
　　11時　パレード出発　明治通り～神宮通六丁目～ニトリ前～タワレコ前～ハチ公～宮下パーク路地

参加者　約130 大人名85、子ども35名、警備10名
属　性　ヘアロス症状をもつ当事者、お子様、ご家族、ヘアロスを応援する友人たち
協　力　渋谷警察 警備課、西武造園株式会社指定管理者、宮下公園パートナーズ 大坊様









トークショー

スペシャルゲストとしてインフルエンサーの「カマたく」さんをお迎えし、ヘアロスキッズアンバサダーのRiricoちゃんを交えてトークショーを開催しました。カマたくさんご自身も円形脱毛症・抜毛症であることを公表されていて、髪のあるなしに関わらず、生きづらさと向き合いながらも「ごきげん」に過ごせるように暮らすヒントについてお話しいただきました。ヘアロス当事者はもちろん、悩みや問題を抱えた人にも通じるカマたくさんのポジティブな考え方に、約130人の参加者が引き込まれ集中して聞いていました。






SNSに寄せられた感想

- トークショーのカマたくさんの「他人はどうでも良い。自分はどうしたいか、どう思っているか」の言葉が耳に残っている。
- カマたくさんとりりこちゃんのトークショーでは何度も「自分はどうしたいのか」「自分で決める」というワードが出てきた。
- トークショーがとても楽しくて良かった。悩んで「だから何?だからどうしたい?」に共感しました。
- いろんな人がいて状況も違うし、隠すことが悪いわけではないと思うけど、脱毛症の自分を自分が恥ずかしいとかみじめだとか思わないといいなと思う。
- 目が悪いからメガネをかけるのと同じように、髪の毛がないからウィッグをかぶるだけになればいい。
- カマたくさんの「多様性は人に言うもんじゃない、人に言った時点でその多様性を押し付けているだけ。多様性は自分で思っていればいいこと」という言葉が印象に残っている。

キッズモデル・モデルランウェイ

一般応募したキッズモデル（28名）ヘアロス当事者ヘアロス経験者を含む大人のモデル（11名）がイベントのラストを飾ってくれました。イベントテーマ「ジブン色をみつけよう!COLOR FUN!」から、ジブン色を表現した衣装に着替え、ランウェイを歩きました。ランウェイを終えたモデルさんやスタッフたちが涙ぐんでいたり、自分と同じ症状のモデルさんを見て、目頭を押さえている参加者もいました。

協力　ヘアイクアップアーティスト：TACA
ヘアイクアップアーティスト：EMI
学校法人 国際共立学園 国際理容美容専門学校







出展企業から寄せられた声

屋外スペースということもあり、季節柄の天候の懸念もありましたが今年の大きな目的である「不特定多数の人が行き交う場所」で知らない人に届けるを重視させていただき、皆さまから多大なご協力を得ました。日本で初めてのヘアロスパレードに始まり、各社様工夫を凝らしたブースで来場者をお迎えくださりウィッグの楽しさを知っていただく機会になりました。







- 当事者ではないけれど、だからこそあのような一般の人もウェルカムなイベントがあることで、知ることができひいては多様性に寛容な社会づくりにつながると感じました。
- 2022年のイベントよりも、多くのヘアロス当事者様が足を運んでくださりました。コンセプトの通り華やかでしたし、ヘアロスを知らない方にも認知していただける機会になったと思います。
- 来場者の方が想像よりも多く、ブースには当事者の方、当事者の家族の方、ウィッグに興味がある方、などイベントの意向に沿った方達が多くいらっしゃり、皆さん気さくに相談や身の上話、感想などを伝えて下さりました。とても温かく、ほんわかした空間になっていたと感じます。
- 普段沢山触れ合う機会の無い当事者の方達とのコミュニケーションは学ぶものが多く、涙があふれる瞬間もありました。ウィッグショップをやっていても知らなかったこと、どんなことが嬉しくて、どんなことに困っているのか、色々な気持ちが伝わり、きっと来場者の皆様にも伝わっていたと感じます。
- 渋谷でのパレード等で当事者だけでなくたくさんの方に知っていただける機会だと思いました。
- ヘアロスに対してもイメージが変わったと感じました。ランウェイもウィッグあるなしに関わらず、皆様笑顔が素敵でした。遠巻きに見ていた方やストリームの階段上から見ていた方々も多くいましたが、皆好意的な感じが伝わってきました。

キッズワークショップ

出展内容	缶バッヂ、カラーメッシュ、 トイレットペーパー芯再利用ドールづくり、 廃棄布利用WS
来場人数	約130名
ワークショップ実績	ワークショップ40名
お菓子配付	お菓子87名
お客様の声 （接客しての様子、リクエストなど）	好評でした。お菓子をすごく喜んでくれました。
担当者の気づき・所感	ハサミがもう少しあったら良かった。 （バッチ作り、エクステをカットする時両方必要だった） 1つのコーナーに混む時間が 集中してしまった時は大変だった。







一般社団法人LITTLE ARTISTS LEAGUE　ご担当者：ルミコハーモニー

どんなヘッドスタイルでも楽しみながら生きようワークショップ

自分なりのトイレットペーパーの芯ドールを作ろう









SNS寄付フォトキャンペーン（NMT Japan様ご協力）



2023年6月ヘアロス当事者の撮影会イベントでそれぞれが自分の好きな姿で撮影に臨みヘアメイクをしてもらい、子供から大人まで、最初は緊張していた表情も和らぎそれぞれ個性を生かした素敵な写真が出来上がりました。ヘアロスについて、まだまだ理解の輪が広がっていないためにおこることに共感したモデルの皆様のご協力いただきました。

- 周囲からの心無い言葉を無くしていきたい。
- 髪の毛がないことがよくない事という価値観の変換をしていきたい。
- 症状を隠し一人悩むことが多いヘアロスの方たちに、「一人じゃないよ」「仲間がいるよ」と伝えていきたい。

撮影した写真はパレードで使用予定でしたが雨天であったため、2024年に使用いたします。
「1♡いいね!」=100円の支援金（寄付）を頂戴いたしました。

協力　株式会社 NMT Japan様　@bmcclinic_minamiaoyama
日本初の医療アートメイクスクールとアートメイクに特化したクリニックを運営。
脱毛した眉毛に施すアートメイク施術で、多くのヘアロスの方に自信を与えています。



撮影：イシヅカマコト

フォトグラファーのイシヅカマコトです。普段はYouTubeチャンネル「毎週キングコング」ディレクター「病気障がいラヂオ（仮）」パーソナリティー/プロデューサーとして活動しています。キャンプファイヤーのcommunityで「イシヅカマコトのオンラインサロン」を運営しています。
「病気や障害にかかわらず、生きづらさを感じている全ての人が生きやすい社会」にするために、自分の知名度を大きくして、有名なフォトグラファーになることを目指して活動しています。

NPO法人 好きと生きる　/　理事
NPO法人 ASPJ　/　監事
NPO法人 super view　/　賛同アーティスト
一般社団法人 こどもエンターテインメント　/　プロデューサー

https://ishizukasalon.wixsite.com/ishizukamakoto
https://www.youtube.com/channel/UCqv1arylVSRsB18ke7ZBIYw
https://www.youtube.com/channel/UCgm5JFYUWqVTQKH15D8eqFg?view_as=subscriber
https://www.instagram.com/ishizuka_makoto
https://twitter.com/ishizukamakoto_?lang=ja

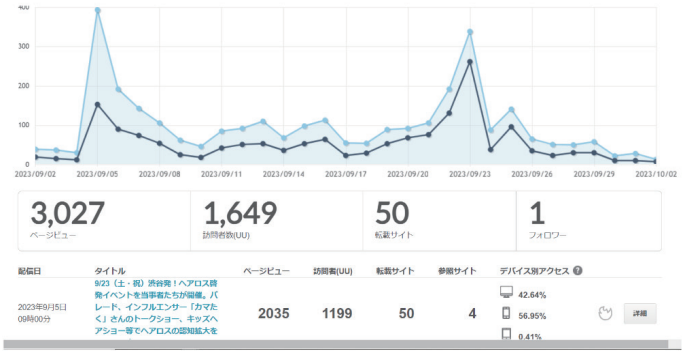
協賛企業・後援・出展・助成金・寄付 一覧

ゴールドスポンサー	株式会社Berry&Rose https://berry-rose.com/	医療用の人毛ウィッグを扱っている株式会社Berry&Roseです。キューティクルを残したヴァージン毛を使用している為、柔らかくとても自然なウィッグです。サロンでは、ノーカットの状態からお客様のご希望に合わせたスタイルカットが出来ます。
	株式会社FOZ（JMAKE） https://foz.jp/	着替えるヘアメイク「JMAKE」｜株式会社フォゼット。ファッションの新しい可能性を追求し、自分らしく輝くあなたを応援します。FIRST　ポジティブファーストONLY ONE　オンリーワンな人生をREAL　情熱のその先に
	株式会社アデランス https://www.aderans.co.jp/	アデランスグループの最大の使命は、毛髪・美容・健康のウェルネとう氏手通じて世界の人々に夢と感動を提供し、笑顔と心豊かな暮らしに貢献することです。
シルバースポンサー	株式会社京越（ブライトララ） https://www.brightlele.jp/	自然で高品質、トレンドを抑えたヘアスタイルが魅力のウィッグ専門店「ブライトララ」です!ブライトララのウィッグがご好評いただいている3つの理由①トレンド感のあるお洒落なスタイル②快適で自然な見栄え③お求めやすい価格です。医療用の人毛や、人毛MIXウィッグも10000円からご用意しております。 ぜひ、ブースに遊びに来て下さいね♡
	ルアン株式会社（スーパーミリオンヘアー） https://www.ruan.co.jp/	スーパーミリオンヘアーでおなじみ、ルアン株式会社は今年で創業50年。TV番組や通販で見たことがある方、10秒で仕上がる本当の実力をぜひブースでご覧ください!御年76歳の社長が張り切って生実演を披露します!髪の若々しさを応援し続け、皆様に寄り添える企業であり続けます。
	株式会社リネアストリア https://ilovewig.jp/	LINEASTORIAは、ファッションウィッグをはじめ、エクステウィッグや医療用としても安心してご使用いただけるM.Wig認証のウィッグなど、ウィッグ用品を多数販売しております。2008年より15年以上、お客様のご要望にお応えしながら成長してきています。これからもお客様に喜んでいただけるウィッグを提供すべく努めてまいります。
	一般社団法人 日本抜毛症改善協会 https://tricho.jp/	お洒落を楽しみながらみんな幸せに。最新の心理学に基づいた心と体に優しく、楽しんで取り組める抜毛症の改善方法を提供されています。
ブロンズスポンサー	株式会社NMTjapan https://biotouch.jp/about/	ヘアロスフォトキャンペーン「いいね」=100円寄付協力 世界中で認められてきた米国Biotouch社のアートメイクを日本に。パラメディカル（色素形成）損傷した皮膚に色素を入れ再建する技術を提供されています。
出展	株式会社クロスオーバー（アクアドール） https://aquadollwig.jp/	「自然で高品質なのにお手頃」がコンセプトのウィッグ専門店です。ECサイト販売のみならず、ウィッグアドバイザーが常駐サロンは全国に7店舗。子供用やメンズ用を含め、トレンドに合わせたヘアスタイルを楽しめるウィッグがヘアロスでウィッグを必要とされている方に支持されています。 ウィッグ以外にも、眉毛シールやケア用品など様々な商品も展開しています。
	株式会社プリシラ https://www.prisila.jp/	神戸のウィッグメーカー プリシラです。取扱い商品は千種類を超え、圧倒的なラインナップを誇ります。 ヤング向け商品を主に展開していましたが、近年はミセスシニアウィッグや医療用にも力を入れ、帽子感覚でかぶれる帽子ウィッグは大ヒットを記録し続けています。 ウィッグが必要な方全てにウィッグを届けられるよう日々活動しております。

協賛企業・後援・出展・助成金・寄付 一覧

キッチンカー	野方ホープ（ラーメン） https://instagram.com/kitchencar_nogatahope	昭和63年環状七号線に暖簾を掲げてから変わらない味。ガンコババァと呼ばれ、親しまれた小栗冨美代が作り上げたラーメンをフードトラックに乗せてお届けいたします。「醤油とんこつラーメン元（はじめ）」は豚骨、鶏ガラ、野菜のトリプルスープに甘味の多い背脂を加えこってり、だけどあっさり食べられる一杯に仕上げました。女性にも人気の「とまとラーメン」は3日以上寝かせた特製トマトペーストと、自慢のトリプルスープを合わせた甘味と酸味のとまと感溢れる、野方ホープでしか味わえないヘルシーな一杯です。
	まめカフェ日本橋（クレープ） https://instagram.com/mame_cafe_nihonbashi	日本橋で小さなカフェを拠点としております。 キッチンカーではモチモチのクレープや自家製スパイスレモネード、オリジナルブレンドコーヒーを販売しています。
後援	渋谷区 https://www.city.shibuya.tokyo.jp/	渋谷区基本構想 ちがいを　ちからに　変える街。渋谷区渋谷は世界を変える。いや、「渋谷が」世界を変える。本気でそう信じてみよう。
	一般社団法人渋谷SDGs協会 https://sdgs-shibuyaku.com/	渋谷区SDGs協会は「子どもから子どもへ」をテーマに掲げ、渋谷のSDGsの”つながり”や”学びの場”を創出していきます。 （ホームページより引用）
	渋谷新聞 https://shibuya-shimbun.com/	地図にのらない渋谷がある「渋谷の街とそこにいる人の生の声に特化したローカルメディア」1.渋谷の街とそこにいる人にフォーカス2.多様性のあるメンバー3.リアルイベントの開催
出展	一般社団法人LITTLE ARTISTS LEAGUE https://www.instagram.com/littleartistsleague/	社会課題をアートで解決するグローバルアートチーム。環境問題やダイバーシティなど様々な社会課題をオシャレなアート展覧会やワークショップとして展開し、幅広い層に大人気。アート思考やバイリンガルのワークショプで自己肯定感も育まれると好評◎
助成金寄付金	「つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない～」東京都共同募金会 赤い羽根共同募金福祉活動応援助成事業 https://www.akaihane.or.jp/	
	公益財団法人 大同生命厚生事業団 ビジネスパーソンボランティア活動助成 https://www.daido-life-welfare.or.jp/index.htm	
	ファイザー株式会社 https://pfizer-ac-web.pfizer.co.jp/cc/	
商品提供	株式会社やおきん https://www.yaokin.com/company.html	「うまい棒」をはじめ、こどもから大人までおいしくて楽しめる、たくさんの駄菓子をトータルでプロデュースしています。
	株式会社おやつカンパニー https://www.oyatsu.co.jp/	たっぷり、たのしい、「おやつ」と「夢」の創造。いつも子どもたちの視点から、たっぷり満足感があり、遊びゴコロ溢れる、たのしい”おやつ”を提供し、”たっぷり、たのしい”おやつづくりに努めています。

ヘアロス啓発イベント2023 収支報告・メディア





収支報告書

2023年〇月〇日

事業名：ヘアロス啓発イベント2023
申請団体名：NPO法人Alopecia Style Project Japan（日本ヘアロス啓発実行委員会）
責任者：土屋光子

収入の部

項目	額	積算内訳	内訳金額
企業協賛費	700,000	ゴールドスポンサー30万円×2	600,000
		ブロンズスポンサー10万円×1	100,000
出展社・出店業者出展費	14,480	キッチンカー（まめカフェ）	6,400
		キッチンカー（ラーメン）	8,080
物販	56,000	TシャツS・XL・フラッグ＆リストバンド・フェイスシール・フラッグ・リストバンド・ASPJ缶バッジ	56,000
助成金	575,000	東京都共同募金会 赤い羽根共同募金福祉事業応援助成事業	400,000
		公益財団法人 大同生命厚生事業団 ビジネスパーソンボランティア活動助成	100,000
		ファイザー株式会社	75,000
クラウドファンディング入金額	2,835,447	ゴールドスポンサー×1・シルバースポンサー×4・出展料込み	2,835,447
収入合計	4,180,927		

支出の部

項目	額	積算内訳	内訳金額
会場費	773,510	会場賃借料	396,100
		会場賃備品レンタル	377,410
外注費	708,086	司会・ヘアメイク	133,165
		撮影・編集	179,321
		音響・照明	395,600
人件費	380,000	スタッフ人件費	380,000
広告宣伝費	738,701	渋谷区掲載申請	56,990
		ゲスト出演料	135,000
		WEBサイト・配布物デザインなど	546,711
印刷製本費	546,000	パンフレット、チラシ、ハンドブック	546,000
仕入れ	220,390	販促物仕入れ	220,390
旅客交通費	338,775	交通費、駐車場代含む	338,775
消耗品費	90,758		90,758
通信運搬費	59,740		59,740
保険料	22,110	イベント保険	22,110
会議費	140,451		140,451
支払手数料	25,635		25,635
支出合計	4,044,156		

総括と2024年度へ向けて

1月　メインキックオフ

2月　2024メンバー募集 企画会議

3月　協賛企業様への呼びかけ、会場選定

4月　出演者依頼調整

5月　会場予約契約

6月　交流会開催

7月　交流会開催 告知開始 オンライン施策 ボラスタ募集

8月　交流会開催 オンライン施策、決算月　定時総会

9月　ヘアロス啓発イベント2024

10月　報告書作成

11月　2025企画案

12月　2025へ向け

キーワード

メタバース　国際　アート　パレード　スポーツ　体験　キャンプ

マリンスポーツ　アイドル　ディレクターズファイル　ファッションショー　ボールドヘア体験

探求　ヘアロスメンズ　メタバース　サポートハンドブック

2023年度 日本ヘアロス啓発実行委員会 組織図

日本ヘアロス啓発イベント実行委員会（2022年設立）

委員長：　土屋光子

副委員長：　イシヅカマコト

監事・アドバイザー：　佐々木つぐみ
国宝孝佳
仲野里美
高柳ゆか

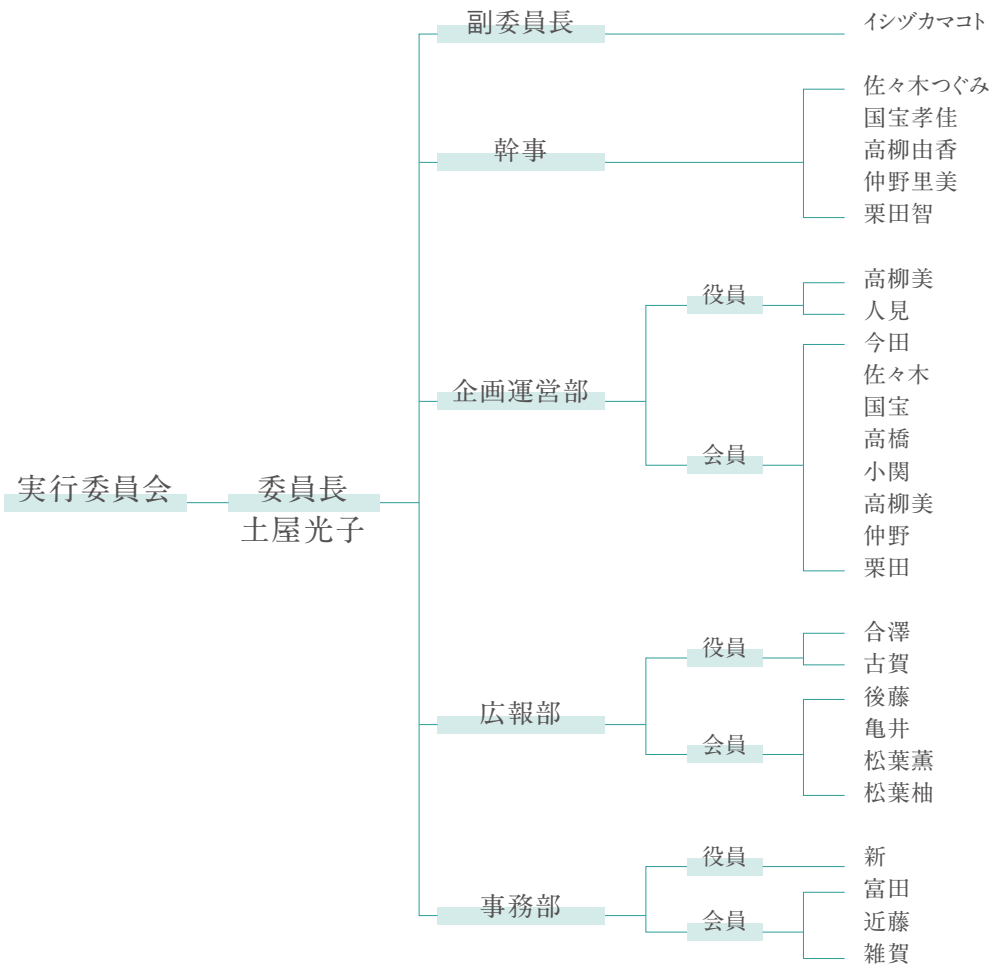
デザイナー：　髙木龍之介

ボランティア統括：　栗田智

企画スタッフ：　高橋、人見、今田、小関

事務スタッフ：　富田、新、近藤、雑賀

広報スタッフ：　亀井、合澤、古賀、後藤、松葉



髪に症状があることをハンデにしない社会

特定非営利活動法人Alopecia Style Project Japan
〒104-0061 東京都中央区銀座1−22−11銀座大竹ビジデンス2階

メール　：alopecia2.0@gmail.com
HP　：https://aspj.site/
event　：https://aspj-group.peatix.com/
instagram：https://www.instagram.com/alopecia.style/?hl=ja
twitter　：@AlopeciaJ
facebook　：https://www.facebook.com/AlopeciaStyleProject
Youtube　：https://www.youtube.com/channel/UCYFjMh4B3WOdMFy-vH2yk8A